

メタボリックシンドロームにならないために

1. 期 間 平成22年10月2日(土)・10月9日(土)・10月23日(土)
 2. 募集定員 80名(定員になり次第、締め切りとさせていただきます)
 3. 受講対象 一般
 4. 受講料 1,500円(3回分)
 5. 会 場 獨協医科大学越谷病院 高架下会議室
 6. 申込先 獨協医科大学越谷病院 庶務課
- 受付開始：9月2日(木)より
受付時間：午前9時から午後5時(平日のみ)
尚、電話での申し込みは受け付けておりませんので、直接窓口にてお申込ください。
お問い合わせ：TEL 048-965-9137(直通)

1 10月2日(土)午後2:00~3:30

『メタボと腎疾患』

最近、メタボリック症候群や生活習慣病が毎日のように新聞やテレビで報道されています。肥満や内臓脂肪の蓄積は、腎機能低下や蛋白尿などの慢性腎臓病(CKD)を来し、日本でもメタボリック症候群の増加により、CKDとそれに関連した心血管疾患(CVD)の発症率や死亡率が高くなっています。本講座では、早期診断・腎疾患の概説、予防法などについてお話しします。

獨協医科大学越谷病院病理部

教授 上田善彦

〈略歴〉

昭和54年 獨協医科大学 卒業
獨協医科大学第二病理学 研究員
昭和57年 獨協医科大学第二病理学 助手
昭和60年 獨協医科大学第二病理学 講師
平成3年 ニューヨーク州立大学バッファロー校留学(病理学)
平成5年 獨協医科大学第二病理学 助教授(現准教授)
平成13年 獨協医科大学越谷病院病理部 教授
平成22年 獨協医科大学越谷病院副院長兼任

〈学会活動等〉

日本病理学会評議員、日本腎臓学会評議員、日本小児腎臓病学会評議員、日本臨床細胞学会埼玉支部長、日本腎病理協会会長、日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会専門医、日本臨床検査専門医、公認スポーツドクター、日本医師会認定産業医、他多数



2 10月9日(土)午後2:00~3:30

『食生活を考えよう』

「メタボリックシンドローム」という言葉は、今や国民の間にすっかり定着しました。平成18年の調査を見ますと、40~74歳の男性では、2人に1人、女性では5人に1人が、メタボリックシンドロームを強く疑われる者が予備軍と報告されています。本講座では、メタボリックシンドロームを予防、改善するための食生活についてお話しします。

獨協医科大学越谷病院 栄養部

係長 長尾三千代

〈略歴〉

昭和61年 十文字学園女子短期大学家政科 卒業
平成元年 獨協医科大学越谷病院 入職

〈学会活動等〉

特になし



3 10月23日(土)午後2:00~3:30

『「メタボリックシンドローム」って、本当に怖い?』

メタボリックシンドロームは、軽度の血糖、血中脂質、血圧の異常が複数重なった状態を指し、その原因には内臓脂肪の蓄積が考えられます。メタボリックシンドロームの人は将来、糖尿病になる確率がとても高く、また心筋梗塞や癌の発症とも関係しています。本講座では、メタボリックシンドロームの診断、予防、対処法について、わかりやすくお話しします。

獨協医科大学越谷病院内分泌代謝・血液・神経内科

教授 麻生好正

〈略歴〉

昭和62年 群馬大学医学部卒業
群馬大学第一内科 研修医
昭和63年 伊勢崎市市民病院内科 医員
平成元年 獨協医科大学越谷病院一般内科 助手
平成9年 米国カリフォルニア大学アーヴァイン校 病理学教室留学
平成11年 獨協医科大学越谷病院一般内科 助手
平成12年 獨協医科大学越谷病院一般内科 講師
平成14年 獨協医科大学越谷病院一般内科 助教授(現准教授)
平成15年 獨協医科大学越谷病院内科(内分泌代謝・血液・神経) 助教授(現准教授)
平成20年 獨協医科大学越谷病院内科(内分泌代謝・血液・神経) 教授

〈学会活動等〉

日本内科学会専門医、日本内分泌学会専門医、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、米国糖尿病学会、欧州糖尿病学会、他多数

